

総合国際経済Ⅰ

科目ナンバリング ECP-401
選択必修 2単位

吉岡 孝昭

1. 授業の概要(ねらい)

総合国際経済Ⅰ、Ⅱを通して、帝京大学経済学部国際経済学科の4年間の「学び」の総まとめを行うことが本授業の狙いです。

具体的には、帝京大学の建学の精神である、「努力をすべての基とし、偏見を排し、幅広い知識を身につけ、国際的視野に立って判断ができ、実学を通して想像力および人間味豊かな専門性ある人材の養成」に向け講義をします。

このため、本授業では、ICT、グローバル、SDGs、金融等を重点教育テーマに位置付け、国際経済学科での4年間の幅広い学びを、アクティブ・ラーニング等を通じて再確認し、受講生が、困難に直面した時こそ自分で考え克服する力を磨き、これからの時代を生き抜くための「自分流」の生き方の涵養を目指します。

2. 授業の到達目標

実学の視点を踏まえ、就職にも備える形で、帝京大学経済学部国際経済学科の「学び」の総まとめを行い、以下の能力の涵養を目指します。

- (1) 幅広い知識を身につけ、その知識を他者に説明できる。
- (2) 国際的視野に立って判断できる、問題解決能力を身につけます。
- (3) 実学を通して想像力および人間味豊かな専門性ある人材に必要な能力を身につけます。
- (4) 講義を通して、社会人として必要な幅広い一般教養・マナー等を身につけます。

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度を50%程度、中間・最終試験を50%程度にして総合的に評価します。

※成績評価の方法および基準は、あくまでも当初の予定であり、今後の状況変化に応じて変更されることがあります。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定教科書は用いず、PowerPoint等を活用して説明します。必要に応じて、プリントを配布します。

参考文献

学内外の図書館や各種データベース等を利・活用します。

必要な参考書、資料などは、講義の中で随時紹介していきます。

5. 準備学修の内容

本講義は、総復習との位置づけであり、取り扱う範囲が広いため、時間の都合上、詳しい説明ができない場合があります。このため、「自調自考」(自ら調べ、自ら考える)を徹底してください。

前回の講義内容をレポートに纏めるなど、復習を確実に行って下さい。

6. その他履修上の注意事項

本講義は、対面授業で行う予定です。但し、今後の状況変化に応じては、大学側の指導に基づいた授業形態となる場合があります。

対面授業時には、安全第一に努められ、可能な限り、毎回出席し、積極的な授業貢献をお願いします。出席時には私語は厳禁です。

なお、今年度は、大学側の指示により、初回の授業は、全科目LMSにコンテンツを掲載するオンデマンド形式での授業となります。また、授業実施予定表には授業回数は14回となっておりますが、初回以外に授業期間中に1回分の授業をLMSにコンテンツを掲載するオンデマンド形式で実施し、学修時間の確保を図ります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(授業の進め方等)を行います。
※初回の授業は、大学側の指示により、全科目LMSにコンテンツを掲載するオンデマンド形式での授業となります。
- 【第2回】 キャリアデザインについて学びます。
- 【第3回】 SDGsについて学びます。
- 【第4回】 国際情勢について学びます。
- 【第5回】 日本経済と地域経済について学びます。
- 【第6回】 業界・企業研究等について学びます。
- 【第7回】 DX(Digital Transformation)を実現するデジタルテクノロジー等について学びます。
- 【第8回】 未来社会を作るテクノロジー(医療、食、ナノテクノロジー、宇宙、エネルギー等)について学びます。
- 【第9回】 メディアコンテンツ制作・編集(VR、AR、MR等を含む)について学びます。
- 【第10回】 社会人基礎力(ビジネスマナー等)について学びます。
- 【第11回】 社会人基礎力(人間関係力、チームワーク力、コミュニケーション能力等)について学びます。
- 【第12回】 社会人基礎力(プレゼンテーション力、表現力、話し方等)について学びます。
- 【第13回】 リスクマネジメントについて学びます。
※LMSにコンテンツを掲載するオンデマンド形式での授業の予定です。
- 【第14回】 ミクロ経済学(市場の機能と価格メカニズム、ゲーム理論、不完全情報の世界等)について学びます。
- 【第15回】 総まとめと試験・解説。
※各回の授業内容は、あくまでも当初の予定であり、今後の状況変化に応じて変更されることがあります。